

## 第121回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】 放射線に関する災害や事故の農産物等への影響について

JCO事故から25年たっている。当時ほうれん草を作っていたが、全部売れなくなってしまった経緯がある。当時もそうだが、放射線に関する災害や事故が起こった時に、農産物や農業者への影響について詳しい人がいない。すべてが避難のことばかり。災害等や事故後に、農産物や農業者へのフォローやサポートができるよう、職員の教育を徹底して欲しい。

#### ⇒【村長コメント】

災害や事故が起こった際にまずは人命について考えなくてはならず、避難のことが一番になるが、村民の生活基盤のこと、農業や商工業などのことや風評被害のことも考えていかなくてはならない。当時を知らない若い職員も多くなってきたが、職員は引き続き、教育していく。

### 【2】 村立東海病院に優秀な精神科医を！

県立こころの医療センター（友部）に通院しているが、通院が大変である。精神疾患を診れる病院が近くに無く、他の人も日立や水戸、遠くは茨城町や石岡町、土浦市など遠くまで通院している。

現状自分は車で通院できているが、高齢になると難しい。近くの病院に医師がいてくれると助かる。常勤じゃなくても非常勤でもいてくれると助かる。年々精神的な疾患を抱えた人も増えてきており、通院患者も増加している。ニーズは高まっていることが分かっている。

また、自分は民間の病院で、適切な診断がつくまで時間がかかってしまった。適切な診断ができる優秀な精神科医を置いてほしい。

#### ⇒【村長コメント】

希望はよくわかった。お話の通り、心に悩みを抱える方はだんだん増えてきていると思う。けれども、いまずぐ村立東海病院に精神科をとというのは難しい。村立東海病院では現状内科医も不足しており、産科も無い。

どういう診療科を村立東海病院にさらに充実させるかはニーズを見極めながら考えていく。

### 【3】 選挙ポスターへの落書きについて

中丸コミュニティセンターの入り口にある選挙ポスターに落書きがされている。

#### ⇒【村長コメント】

選挙管理委員会を通じて警察や選挙事務所に連絡し、対応してもらう。

※ 他1名の方にご参加いただきました。（コメントは割愛させていただきます。）